

## H23 午後 2 問題 2 を評価して

2017/9/28 by koyano

先ず、私が考える、問題文から読み取れる題意と執筆上での留意点を述べます。

### 設問ア

#### 1. 事業の急激な変化と考慮した強い制約条件

##### 1.1 事業の概要と特性

特になし

特性はこの事業の強味を述べる。さらに私の立場(ITST)もここで述べておく。

##### 1.2 事業の急激な変化

市場変化の兆しがあって、下記のような事業の変化があるとする。

- ・販売チャネルの拡大、新製品の短期投入

##### 1.3 考慮した強い制約条件

- ・開発期間の短縮、投資額の制限、開発要員の限定

### 設問イ

#### 2. システムの選定方針及びその理由と実現すべき要件

##### 2.1 策定したシステム選定方針 [具体的に述べる]

機能・性能・運用などの要件を整理→制約事項を考慮して選定方針を策定する。

- ・既存の業務プロセスに合わせるのか
- ・クラウドコンピューティングサービスを利用するのか
- ・アウトソーシングするのか

上の流れに沿わせる。一つに絞れ。

##### 2.2 策定した理由 [具体的に述べる]

特になし

### 設問ウ

#### 3. 計画に対する調査比較及び改善事項

##### 3.1 特に重要と考える計画、調査・比較したこと [具体的に述べる]

システム選定方針の策定に当たっては以下のことを考慮することが重要

- ・新システムで対応できない業務プロセスの実現方法の確立
- ・新システムを使いこなすためのチェンジマネジメントの計画
- ・クラウドコンピューティングサービス、アウトソーシングサービスなどの詳細な調査・比較

「重要な考慮点」に絞る。

##### 3.2 更に改善できると考えた事項 [具体的に述べる]

特になし

実現と反省を素早く回すこと改善できるとせよ。

**B** の評価とさせていただきます。

本番でここまで書ければ合格レベルでしょう。しかし PC 使用で 5 時間の成果物、試験まで後 4 週間あることから、もっとレベルを上げて欲しいのでこの評価とします。

今回の論文をリライトすることをお勧めます。送って頂けたら簡単ですがコメントします。  
(無料サービスです)

原稿用紙に向かい、時間測定し、手書きでの経験は一度はしてください。2 時間チョットオーバーは本番ではリカバーできます。

設問アの字数制限「800 字以内」から外れていますが、今回それは無視しています。

- 設問にはきちんと回答しています。更に問題文のポイントをくみ取って、同様に回答に反映してください。
- 一文が長過ぎないように。

平成23年問2 評価票					2017.9/28				
条件	内容	重み	基準		評価	コメント	備考		
条件1	1)設問アの字数制限「800字以内」が守られているか	/			×	問題【825】	1つでも該当すればD		
	2)設問イの字数制限「800字以上1600字以内」が守られているか							○	問題なし【1400】
	3)設問ウの字数制限「600字以上1200字以内」が守られているか							○	問題なし【950】
条件2	1)設問アを反映している見出しか	3	3	9	2	6			
	2)設問イを反映している見出しか	3	3	9	2	6			
	3)設問ウを反映している見出しか	3	3	9	3	9			
条件3	1)ア見出しに合致した内容になっているか	2	3	6	2	4			
	2)イ見出しに合致した内容になっているか	2	3	6	2	4			
	3)ウ見出しに合致した内容になっているか	2	3	6	3	6			
	4)ア問題文で問われている内容になっているか	3	3	9	1	3			
	5)イ問題文で問われている内容になっているか	3	3	9	1	3			
	6)ウ問題文で問われている内容になっているか	3	3	9	3	9			
条件4	読みやすい丁寧な字で記述されているか	2	3			PC入力につき			
条件5	ITSTは経営層の意向を理解しているか	1	3	3	3	3			
	ITSTの立場を明確にしているか	2	3	6	2	4			
条件6	1)結論が先に記述されているので分かりやすいか	1	3	3	2	2			
	2)理由が記述されているので分かりやすい	1	3	3	2	2			
	3)どのようにも取れる曖昧な表現はしていないか	1	3	3	2	2			
	4)設問イ、具体例が記述されているか	2	3	6	2	4			
	5)設問ウ、具体例が記述されているか	2	3	6	2	4			
条件7	1)アの記述量は空行3行以下まで記述されているか	1	3	3	0	0	1行オーバ		
	2)イの記述量は最低字数制限の1.2～1.6程度は記述されているか	1	3	3	2	2	(960)<(1280)<【1400】		
	3)ウの記述量は最低字数制限の1.2～1.6程度は記述されているか	1	3	3	3	3	(720)<【950】<(960)		
	4)アイウの各段落の記述量が適切であるか	1	3	3	2	2			
条件8	1)一文が長からず読みやすいか	1	3	3	1	1			
	2)「である」調、句読点の禁則など統一され、最低限の記述スタイルが守られているか	1	3	3	3	3			
	3)修飾部、複文の入れ子構造などを多用せず、気にならないか	1	3	3	2	2			
	4)受け身表現を多用せず、気にならないか	1	3	3	3	3			
条件9	専門的な知識が記述されているか	2	3	6	3	6			
条件10	定量的表現がされているか	2	3	6	2	4			
		合計	138		97				
		評価			70.3%				
(A:100～75 B:74～60 C:59～45 D:44～0)									

## 詳細コメント

### 凡例

- ◎ 良い箇所です。
- × マイナス箇所です。
- △ 小さいけど改善が欲しい箇所です。

### 設問ア原稿

△ 1ページ目5,6行目、「近年の市場環境の変化に伴い、」  
⇒いきなりこう言われても分からない。1.2で述べている、個人向けプリンタ事業でジェットモデルがうまくいかなくなってきた、ことなのかと思うが。それにしても離れすぎている。

△ 1ページ目9行目、「従量課金制の新製品」  
⇒これもピンとこなかったが、2章で意味が理解できた。補いが欲しい。  
例えば、**従量課金制機能を有する新製品**

× 1ページ目7~10行目、「A社経営者は・・・エンタープライズ向け販売チャネルに対し、従量課金制の新製品の短期投入の対応という事業の変化に直面していた。」  
⇒「A社経営者は・・・直面していた。」ではなく、A社経営者は・・・**事業の変化の必要性に直面している**。のではないか。もう少し書き換えて、例えば  
「A社経営者は競合他社に対する優位性を確保するため**エンタープライズ向けに市場を拡大する事業の変化の必要性に直面している**。そのためにはトナーに代わり、インクジェットを使用した**従量課金制機能を有する新製品**を投入したい。」

× 1ページ目11~16行目、「なぜエンタープライズ向けを選択したか」というと、従来、インクジェットはビジネス利用が不向きと言われていたが、近年の品質改良により、ビジネス利用が可能になってきており、トナーに比べ安価であるため、コスト削減の面で企業ユーザーに対し訴求できると考えていたためである。」(130字)  
⇒一文が長い。長い単語使用(例、クラウドコンピューティングサービス)の場合は別として、ビジネス文章はスッキリと一文3行75字以内に抑えたい。特に読み初めで一文が長いと印象が悪くなる。読むリズムにポンポン感が欲しい。  
⇒一読では内容がピンとこない。エンタープライズ向けにはコスト削減効果の、インクジェットを使用した従量課金制機能の付いたプリントシステム、ということか。

× 1ページ目22行目、「1.2事業の特性について」の見出し  
⇒設問アで問われている事業の特性だが、詳しく書かれていないので色々とれる。

本論文では、A社の事業というよりも業界のジレットモデルを取り上げている。このモデルの崩壊は市場の変化(の兆し)である、と私は理解した。市場の変化(の兆し)があり、事業の変化がある。ジレットモデルの崩壊はやはり、前半に述べておきたい。

変化する場合にA社の事業の特性(=強味)を活かすとすると、**インクジェットの品質面に自信がある**のではと思う。しかし、これらは見出しにして論ずるほどでもない。文中に1,2行述べればと思う。

見出しとするなら、設問アで問われているで1.2 考慮した強い制約条件でまとめた方がよいと感じる。

### 設問イ原稿

× 3 ページ目の 2 章の構成について

⇒問題文には、『機能・性能・運用などの要件を整理し、そして制約事項を考慮して選定方針を策定する。』とある。

本論文では、「(2) 機能・性能面の要件」が最後に後半に書かれている。上記に従って前半で要件を整理してほしい。また、事細かく書き過ぎ。

△ 3 ページ目 3 行目、「(1) 強い制約条件を考慮した IT 基盤についての選定方針」

⇒IT 基盤とアプリケーションの 2 つに言及しているので、

「(1) 強い制約条件を考慮した選定方針」としたら。

△ 2 章全体の文章がクドクドしい感じがする

⇒〇〇と考えたためである。といった表現が 7 つ出現しているからだろう。それに比べて 3 章は 1 個で、なんと明解な文章であろうか。

### 設問ウ原稿

◎ 3 章 内容も文章も良。

△ その他の一文が長い箇所

✓ 3 ページ目 32 行目～4 ページ目 4 行目、「新サービスとして展開しようとしている従量課金のプランをユーザーニーズに従いフレキシブルに変更できることが顧客開発には必要だと私は考えていたため、フルスクラッチの開発ではなく、特化領域に柔軟性を持つソフトウェアパッケージの活用を選定した。」(117 字)

✓ 4 ページ目 10～14 行目、「プリンタ側では元々印刷枚数やインク残量などの情報は持っているし、ほとんどの企業で既にネットワークに繋がっているので、定期的に情報を送信してくれる機能をプリンタ側に用意する 必要があった。」(92 字)

以上